

市民茶会



秋風と茶菓子と抹茶と ひとときをゆったり楽しむ

心地よい秋に、一服のお茶をゆったり楽しんでもらおうと、市茶道協会が主催しました。茶席の掛け軸や生け花も秋をテーマにしつらえられ、訪れた人たちは窓から入る穏やかな秋風を感じながら、茶菓子と抹茶を味わっていました。舌でお茶を楽しんだ後は、器や菓子などの道具を目で楽しみ、日常から離れたひとときを満喫していました。

10月8日 | 大庄屋諏訪家屋敷

弥生人養成講座「弥生の土器づくり」



陶芸や歴史の愛好家が 弥生時代の土器を再現

弥生土器を再現しようと陶芸愛好家など約10人が参加し、成形し乾燥させた土器の野焼きが行われました。秋晴れの下、空焼きの炎でさらに十分に乾燥させてから、わらや木の枝などで野焼き窯を作り、丁寧に作品を並べて点火しました。参加者は、手塩にかけて作りあげた土器がうまく焼き上がるようお願い、立ちのぼる煙を見守っていました。

9月30日 | 下之郷史跡公園

生涯学習支援美術講座「美学」



「美学」で自分磨き 身近な湖国の文化を学ぶ

市と佐川美術館の共催で、美術に親しみ、新たな発見や知識を実践の場として連続講座が開催されています。1回目は「近江の街道～東海道に根ざす文化」と題して、街道の宿場町にまつわる伝説や説話物語をひも解きました。市内外から21人が参加し、浮世絵版画や説話などを通じて、往時の美術を身近に感じながら、熱心に学んでいました。

10月14日 | 佐川美術館

ひまわりオリンピック



元気いっぱい遊んで みんなが金メダル

中洲学区の学区子育てサロン ひまわりで「ひまわりオリンピック」と銘打った運動会が開かれ、未就園児親子10組22人が参加しました。子どもたちはダンボールバスや風呂敷を合わせた手縫いのバルーンなど、子育てサロンボランティアが工夫を凝らした競技を楽しんでいました。運動会の最後には、子どもたち全員に手作りのひまわりメダルが贈られました。

10月3日 | 中洲会館



守山市の人口

令和5年9月30日現在
(前月比)

人口	85,846 (+ 42)
男	42,256 (+ 1)
女	43,590 (+ 41)
世帯数	34,900 (+ 30)

「Don't think Feel」(山)

滋賀県は、全国第4位の国宝・重文保有県。芸術の秋とともに、紅葉の秋。自然を愛でながら、豊かな文化財を堪能するのも一興かと。それにしても、色即ち空、空即ち色、味？いいのです。ブルース・リーも仰っています。



「色即ち空、空即ち色」は、観自在菩薩が般若心経の一節。先日、長浜市向源寺の十一面観音立像を見てきた。安置されている十一面観音は、全国に7体ある国宝十一面観音の中でも最も美しいとされる▼祈りの仏にふさわしい慈愛に満ちた姿の観自在菩薩。優しく穏やかな目鼻立ちや魅惑的な体躯の表現は、見ていてウットリ。守山の福林寺に安置されている十一面観音立像(重要文化財・現在修理中)について、井上靖さんは「仏さまというより天平時代の貴人でもそこに立っているように書いている」